

2020年度 西南学院大学 免許状更新講習 開設一覧

※「子どもの心の理解とその対応—教育相談の基礎から応用まで—」のみ**選択必修**

講習日	受講対象者	募集人数	講習の名称	講習の概要	到達目標	評価方法	担当講師	会場
2020/7/27 →後期に延期 予定(日程は 未定・状況次第 で中止の可能性も あります)	小学校・中学校 ・高等学校 教諭	30人	【選択】農山漁村にみる文化 としての自然環境	自然環境は、人間にとって脅威でもあり、豊かな恵みを与えてくれる存在でもあります。本講習では、農山漁村のくらしを事例に、単なる物理的存在としてではなく、文化としての自然環境について、人々と環境との関係や自然観をとおして考えていきます。教科としては、小学校生活科・社会科、中学校社会科、高校地理科と関係する内容となります。また、身近な地域の学習についてのヒントとなるような材料を提供したいと考えています。	農山漁村に居住する人びとの生活者としての視点(特に生業活動)をとおして、身近な地域の自然環境と人間活動の関わりについて理解する。	筆記試験を行い、総合的に評価する。	藤永 豪 (人間科学部教授)	西南コミュニティー センター 2階 会議室
2020/7/28 →後期に延期 予定(日程は 未定・状況次第 で中止の可能性も あります)	小学校教諭、 中学校・高等 学校教諭(理科)	15人	【選択】身近なサイエンス:身 近な生き物を観察する	学校の周辺でも見られる身近な生き物たちに焦点をあてて、その暮らしや生き方(生態)を調べる。具体的には、室内でノラネコの生態や調査法を学んだのち、実際に屋外(主に西新商店街付近)にて、ノラネコの個体識別や追跡等のフィールドワークを行う。また、班に分かれてグループワークを行うこともある。外を歩きまわられる靴や服装(雨天には雨具)、帽子等が必要。なお、大雨や台風などの荒天の場合は、別メニュー(顕微鏡による微生物の観察等)に変更することもある。	①フィールドワークという予測不能な現場においても、状況を的確に判断し、調査等を遂行できる。 ②グループワークにおいて、メンバーと協力しながら目的や課題を達成することができる。 ③フィールドでの断片的なデータを元に、全体像をイメージすることができる。 ④上記の事項を子供達が達成できるよう導くことができる。	筆記試験を行い、総合的に評価する。	山根 明弘 (人間科学部教授)	西南コミュニティー センター 2階 会議室
2020/7/30 ↓ 8/24~8/29	幼稚園・小学 学校教諭、養護 教諭	25人	【選択】 子どもと家族を支える教員の 役割 —福祉的視点からの再考—	子どもと家族の今日的課題について福祉的視点から理解を深め、教員としての役割を再考することを目指す。講習では、児童虐待、子どもの貧困、発達障害等の児童福祉問題の現状と課題および支援の実践について、ソーシャルワークの知識・技術をふまえて概説する。また、具体的な事例をもとに、グループでの検討を行う。	①子どもと家族の今日的課題を理解し、教員の役割を再考することができる。 ②教育と福祉の連携の可能性を探求し、教員の専門性を考察することができる。 ③グループワークに積極的に参加し、個々の教育上の課題を明確化し、ソーシャルワークの知識を教育支援に活かす可能性を探ることができる。	筆記試験を行い、総合的に評価する。	山本 佳代子 (人間科学部教授)	インターネット
2020/7/31 ↓ 7/31~8/7	中学校・高等 学校教諭(英語)	30人	【選択】英語音声の習得メカニ ズムと教授法について	主に英語の音声習得について、理論的・実践的な側面から検討する。まず、ことば(特に音声)はどのように理解・習得されるのか、特に第二言語学習者の言語習得メカニズムの特徴について、英語母語話者との共通点・相違点から検討する。その知見をもとに、どのような学習法をどのように指導すれば、生徒の英語音声習得に効果的なのか、シャドーイング等の手法を実際に体験しながら検討する。 ※ 無料音声分析ソフトPraatのダウンロードが必要です(*講習中に手順を説明しますので、事前準備は不要です)	①ことばを習得する認知プロセスについて理解し、英語教育への応用可能性について考えることができる。 ②シャドーイングがリスニングプロセスに及ぼす影響について理解し、英語教育への応用可能性について考えることができる。 ③シャドーイングを用いた学習方法や評価方法について再考することができる。	筆記支援を行い、総合的に評価する。	中西 弘 (外国語学部教授)	インターネット
2020/8/3 →後期に延期 予定(日程は 未定・状況次第 で中止の可能性も あります)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 教諭	30人	【選択必修】 子どもの心の理解とその対応 —教育相談の基礎から応用ま で—	心がどのように成り立ち、人格形成に影響を及ぼすのか概観する。そして、心の危機とは何か、人はどのようにして不適応に陥るのかも講義する。そして、教育相談の基本として、傾聴、受容、共感の基本技法を振り返りどのような効果が子どもたちにもたらされるのか。そして子どもたちをどのように支援していくのかも講義する。また、講師が対応した事例を基に演習を行う。そして最後には支援者の支援を講義する。	①人格の形成を知る。 ②教育相談の基本を知る。 ③心の支援の基本を知る。 ④支援者のメンタルヘルスについて理解する。	筆記支援を行い、総合的に評価する。	浦田 英範 (人間科学部教授)	西南コミュニティー センター 2階 会議室
2020/8/4 →後期に延期 予定(日程は 未定・状況次第 で中止の可能性も あります)	中学校・高等 学校教諭 (英語)	30人	【選択】英語教育におけるクリ ティカル・シンキング養成講座	中高の英語教育において、互いに平等な立場でディスカッションし、物事を多角的・多面的に吟味し見定めていく力(いわゆる「クリティカル・シンキング」)を育成する必要性が高まってきました。この講習では、アメリカ文学の短いテキストを英語教材として用いて、生徒の語学力と文化・文学への理解を高めつつ、生徒同士の対話を促す方法の具体例を示します。また、授業を民主的に運営し、生徒の批判的思考力を養成する際の問題点を話し合い、ディスカッション後の結論の引き出し方と生徒に対する評価方法を考えます。	①アメリカ文学の展開について理解し、短い文学作品を用いて英語教育に活用可能な比較、分析を行う。 ②クリティカル・シンキングの意義を理解し、授業でも活用可能な生徒同士のディスカッションを促す方法を身につける。 ③生徒のクリティカル・シンキングを養成し、授業内での民主的活動を実現するためのTeaching Philosophyを書き、それを具体的なメソッドと結びつける。	筆記試験を行い、総合的に評価する。	藤野 功一 (外国語学部教授)	西南コミュニティー センター 2階 会議室
2020/8/7 ↓ 7/30~8/7	中学校・高等 学校教諭 (体育科)	30人	【選択】体育科教育における 教材づくり講座	体育科教育における教材づくりのポイントについて概説しながら、個別、グループでのワークを通して、受講者が実践している教材の見直しを図る。後半は、体育館での実践も行い、参加者同士でのリフレクションを基に更に修正していく。	①体育の単元構造を包括的に理解できる。 ②教材づくりの要点を理解できる。 ③児童・生徒の積極的な学習参加を促す教材が作成できる。	任意の単元の教材を作成し、プレゼンテーションの内容を総合的に評価する。	田原 亮二 (人間科学部准教授)	インターネット